

## 福岡市剣道連盟

【設立年月日】 1953 (昭28) 年1月28日

【加盟年月日】 1962 (昭37) 年1月25日

【歴代会長・理事長】

年度	会長	理事長
1953 (昭28) 年～	佐田 正人	池田 呑
1960 (昭35) 年～	黒木 房人	広光 英國
1970 (昭45) 年～	//	吉武 六郎
1974 (昭49) 年～	//	金子 誠
1980 (昭55) 年～	広光 秀國	村上 五一
1982 (昭57) 年～	吉武 六郎	深見 泰造
1985 (昭60) 年～	大江 健一	篠原 土榮
2004 (平16) 年～	稲員 大三郎	牧瀬 憲保

### 【沿革】

人類の文化遺産である「武道」は世界の各地で「武術・武芸・修行道」など様々な姿・形・様式で継承されてきました。特に武道は、その精神性を尊ぶことから、西洋では「騎士道」といわれ、わが国においては「武士道」と称せられた。この武士道は武道の修練を中核におくことはもちろんであるが、「文武両道・文武不岐・武徳精神」など、常に倫理・道徳・哲学・宗教の求道と不離一体の関係まで昇華せられていった。すなわち昭和50年5月14日付けで通達された全日本剣道連盟の「剣道の理念」－剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である－にすべてが包含されてその道を志向された。剣道は第2次世界大戦の後、一時中断されたが武道はそれに内包される競技性・精神性・求道性などの特性を持つ運動文化として、その本質を見直されてきました。

昭和24年第3回福岡国体開催に当たり福岡市は剣道関係者が集まり市内の剣道有段者を中心に佐田正人氏を会長に迎え、福岡市剣道クラブを発足させました。昭和28年1月全日本剣道連盟の規定完成に伴い東京都剣道連盟誕生に続き、福岡市剣道連盟が誕生し、昭和47年福岡市が政令都市として発足すると同時に剣道連盟はさらに市行政区に基づき東・西・南・中央・博多5区に支部を設け市の剣道連盟の下部組織とした。さらに平成2年西区分区により、

城南・早良支部が新設され、7支部を有する連盟と発展した。その後、福岡県剣道連盟の組織細分化に伴い県内4支部が新設され、福岡市剣道連盟は福岡県剣道連盟福岡連合支部の傘下に入り、さらに福岡市の7支部が昇格することにより、福岡市剣道連盟は、7支部を傘下に置くが昭和37年以來の福岡市体育協会加盟団体として福岡県剣道連盟から独立した団体として、会員有級・有段者計約4,000人を有する全国屈指の剣道団体に成長し現在に至っています。

### 【本連盟の活動内容】

#### (1) 少年剣道教室・少年道場の状況

福岡市の公民館活動の一環として各校区有志による剣道指導は現在各单位教室が剣道振興会を結成し父母中心に運営されている。その数約100団体・3000人の児童（女子が約4割）が各小学校・公民館で稽古に励んで居ます。



名選手を数多く輩出した名門道場如水館の稽古風景  
今年で創立35年を迎える。

#### (2) 中学の部活並びに中体連行事

公・私立ともに活動しているが、学校教育に関するので省略。福岡市中体連として大会を行い、代表が県・九州・全国へとつながっている。2010年老司中学（如水館道場出身）の大西ななみ選手が全日本女子中学生剣道大会で優勝している。なお剣道連盟の年間行事である女子交流大会・福岡市交流大会・剣道祭の3大会には市内ほとんどの中学校が団体戦・個人戦に参加をしています。

### (3) 高校の活動

高校はさらに活発でほとんどの学校が部活動を実施し、玉竜旗剣道大会やインターハイへの活躍はめざましいものがある。昨年22年度の玉竜剣道大会では大濠高校が優勝した。さらに釜山広域市との体育協会主催の高校生スポーツ交流大会に積極的に参加し、国際交流にも貢献しています。

### (4) 大学の活動

福岡市の6大学は春夏の九州学生剣道大会・全日本学生剣道大会にも上位進出し剣道連盟に多大な貢献をしている。特に女子選手は当連盟主催の大会に積極的に参加をし、大会の繋引力となっています。

### (5) 一般社会人の活動

福岡市7区の各区の毎週の稽古会。たとえば南区の毎週水曜日小・中・高校生の希望者を夜6時から実施。7時ころから8時30分ころまで一般参加の稽古会を実施している。各区ともその区の実情に合わせて稽古会を実施している。また福岡連合支部において行われている第三水曜日九電記念体育館にて6時30分から8時30分まで7区の剣士たちが主体となって稽古にはげんでいる。その他会社関係・道場・同好会など毎日どこかで稽古を行っています。

(6) 特別稽古として新年1月3日九電記念体育館で1000名を超える一般・少・中・高生が集まり朝10時より新年稽古会を行い新しい年を迎えています。



個人の道場が過去3道場が存在したが今はこの道場が福岡市の中心道場として社会人の稽古を受け入れている。  
護国神社剣道道場稽古風景

### 【本連盟が主催する各種スポーツ大会】

#### ○福岡市民総合スポーツ大会

・福岡市女子剣道交流大会

小学生より一般（個人戦及び団体戦800名参加）

・福岡市交流大会

小学生から60歳以上の高齢者までの団体戦1000名の選手が参加する。また高齢者の部では全国高齢者大会の予選会も兼ねている。

・福岡市剣道祭

小学生から高齢者まで1200名の参加がある。

この大会で少年剣道指導に貢献されている77歳の剣士に功労者として剣道連盟より表彰を行っています。喜寿を迎えられた剣士表彰は当剣道連盟が生涯修行を目指しているため、77歳を迎えかつ後進の指導に自ら竹刀を取って鍛えていただく方々に、少年に夢を与え継続すれば、このように立派になるのです、と見本を示すための表彰です。

#### ○福岡県民体育大会

青年の部・一般男子の部・青年女子の部・一般女子の部が各区から福岡市代表チームとして参加しています。

#### ○全国高齢者福祉祭（ねんりんピック）

政令都市として60歳以上の剣士が参加しています。平成19年静岡大会では、準優勝するなど高齢者の剣道に対する意識は高いものがあります。そして青少年育成はもとより、高齢者福祉にも貢献しています。



女子剣道大会試合風景